

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月31日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) 山形市役所(六角・荒砥)長井線 (山形市～長井市)	・長井駅・新庁舎長井市役所経由の経路変更を検討。利便性向上のため運賃の見直しを検討。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・R3.10に向け、長井駅・新庁舎長井市役所を経由する経路変更および運賃下げに向け準備。長井市発行の会報に掲載してもらうなど告知・PRを図った。 ・前年度に引き続き、企画乗車券等の販売を実施。 ・沿線市町村と連携した通学支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.9回→実績:5.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:19.4人→実績:12.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・今後も観光地と連携した商品の制作及び販売を継続・強化し、通勤通学客以外(朝夕以外の利用者)の拡大を目指していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山交ビル(荒谷・石倉)天童線 (山形市～天童市)	・前年度に引き続き、路線見直しを検討するとともに乗降調査を継続的にを行い便数の適正化等により乗車効率の増加を目指す。 ・定期券利用者の増加及び乗車率の低い地域の乗車率向上のためのPRを行う。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・ダイヤについて見直しを図り定時運行による利便性向上を図った。 ・周辺市町村と連携し、PRや利用者への支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:13.6回→実績:13.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:55.7人→実績:42.1人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・継続して乗降調査結果を分析してダイヤ調整を行い、沿線市町村(山形市・天童市)とともに路線維持に向けた取組を推進していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山線 (山形市～上山市)	・山形市と上山市を結ぶ10系統について統廃合等による効率的な運行を図る。 ・県立中央病院とダイヤの更なる適正化を協議。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 ・バス車両1両購入(山形(若葉町・南山形)高松葉山線と共用)	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・次年度に向け、効率運行に向けた便数の検討。 ・スポーツセンター・県立中央病院のほか沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.6回→実績:6.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:27.0人→実績:23.7人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・乗降調査結果を分析し、利便性の向上に努めながら、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組を継続していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山形(若葉町・南山形)高松葉山線 (山形市～上山市)	・乗降調査結果を分析してダイヤ調整を行い、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組を推進。 ・沿線の観光施設と連携した取組の強化。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 ・バス車両1両購入(県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山線と共用)	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・利便性向上のため、山形駅での乗降を考慮しダイヤ改正を実施。 ・沿線の病院、スーパー、高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布し周知を実施。 ・観光施設等と連携した特典企画の継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:15.6回→実績:15.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:78.0人→実績:56.1人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	・乗降調査結果を分析し、利便性の向上に努めながら、沿線市町村(山形市・上山市)とともに利用促進策等の取組を継続していく。 ・沿線の観光施設と連携した取組を今後も継続していく。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。

令和 4年 1月31日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) 寒河江駅前(松川・左沢)宮宿線 (寒河江市～朝日町)	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.10より実施したゾーン制運賃(運賃値下げ)について、利用増進に向けたPRの実施。 ・ダイヤ等の見直しにより乗車効率の増加を図る。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線市町村の町報を利用し、町民に対し運賃値下げについてPRを実施。 ・沿線の高校への通学を考慮し、ダイヤ改正を実施。 ・引き続き、近隣の高校に路線別時刻表等を配布しPRを行った。 ・沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.3回→実績:5.3回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:27.0人→実績:18.5人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 寒河江駅前～谷地線 (寒河江市～河北町)	<ul style="list-style-type: none"> ・便数の適正化、ダイヤの見直し等により乗車効率の増加を目指す。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 ・バス車両2両購入(山交ビル～寒河江駅前線と共用) 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・効率運行のため便数の見直しとJR左沢線との接続を考慮したダイヤ改正を実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPRを実施。 ・沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を継続。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:11.2回→実績:11.2回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:52.6人→実績:33.6人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山交ビル～寒河江駅前線 (山形市～寒河江市)	<ul style="list-style-type: none"> ・JR左沢線の寒河江駅での接続を考慮しダイヤの見直しの検討。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 ・バス車両2両購入(寒河江駅前～谷地線と共用) 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・JR左沢線との接続を考慮したダイヤ改正を実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を継続。 ・寒河江市内において利用促進のための乗り方教室を実施。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:19.3回→実績:19.3回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:67.5人→実績:44.3人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線及び近隣市町村とともに、通学・通院等の利用促進を今後も継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 天童(東根市役所)北町線 (天童市～村山市)	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線市町村(天童市・東根市・村山市)とともに利用促進策等の取組を継続して推進。 ・乗車効率の増加のため、沿線の高校等へのPRの実施。 ・R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・学生の定期券利用者増を目指し、バス待合所などに定期券案内の貼り紙等を実施。 ・沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 ・沿線市町村と連携した運転免許証返納者に対する支援を継続。 ・東根市内において利用促進のための乗り方教室を実施。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B ■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.9回→実績:6.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:17.2人→実績:9.6人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も沿線市町村(天童市・東根市・村山市)とともに利用促進策等の取組を継続して推進する。 ・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。

令和 4年 1月31日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山交バス(株) 山交ビル(県立中央病院・高 楯)天童温泉線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> 特定の需要(運転免許センター・県立病院)がある路線であるため、維持する方向で調整。乗車人員増に向け路線のPRを図る。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 沿線市町村と連携した運転免許証返納者に対する支援を継続。 交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:3.0回→実績:3.0回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:15.0人→実績:6.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が特定の客層(県立中央病院及び運転免許センター)であることから、便数・輸送量が少ないため、路線の維持に向けた取組を今後も沿線市町村・県と検討していく。 交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 山交ビル(長岡・漆山)天童温泉 線 (山形市～天童市)	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤの見直し等により乗車効率の増加を目指す。 沿線市町村(山形市・天童市)とともに利用促進策等の取組を継続して推進。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の混雑時に合わせたダイヤ改正を実施。 沿線の病院・スーパー・高校を中心に路線別時刻表を重点的に配布しPR等を実施。 沿線市町村と連携した運転免許証返納者に対する支援を継続。 交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:22.9回→実績:22.9回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:80.1人→実績:52.6人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も沿線市町村(山形市・天童市)とともに利用促進策等の取組を継続して推進する。 交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
山交バス(株) 県立病院～金山線 (新庄市～金山町)	<ul style="list-style-type: none"> 運賃値下げに伴い学生への定期券利用の促進を図る。 R4の交通系ICカード導入に向けた取組を行う。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 明倫学園開校に伴い定期券利用の促進と乗り方教室を実施。 沿線市町村と連携した通学支援や高齢者の移動支援を実施。 前年度に引き続き、金山町に通学定期利用者増のための補助を依頼。 交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:9.1回→実績:9.1回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:46.4人→実績:20.9人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も沿線市町村(金山町・新庄市)と協力して利用促進のためのPR活動を継続する。 交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。
(株)新庄輸送サービス 県立病院～肘折線 (新庄市～大蔵村)	<ul style="list-style-type: none"> 貨客混載便の継続。 観光利用の促進強化。 	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり</p> <p>【事業評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貨客混載の実証実験を継続して実施。 肘折温泉～新庄間の往復乗車券の販売を継続。 	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <ul style="list-style-type: none"> ■運行回数(移動機会の確保) 計画:5.6回→実績:5.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:17.3人→実績:12.3人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 貨客混載便は、実証実験から需要が有り、高齢化や輸送業の人手不足から益々需要が見込まれることから、新規の計画も立案し事業の継続を図る。 継続して観光利用の促進強化を図る。

令和 4年 1月31日

協議会名: 山形県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
庄内交通株 鶴岡(モール・イオン三川、日本海病院)酒田線 (鶴岡市～酒田市)	<p>・沿線の2市1町(鶴岡市・酒田市・三川町)と利用実態及び地域需要に見合ったダイヤ等を検討。</p> <p>・R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・沿線市町と時間帯ごとの利用実態の把握・共有を行い、需要の有無を確認し、ダイヤ等を検討。 ・今後の路線維持のため、沿線市町に対し、路線の必要性の検討及び路線維持にあたる経費の確保について依頼。 ・「学生100円バス」を継続して設定し、高校における利用促進課題研究授業への協力を行った。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A <p>■運行回数(移動機会の確保) 計画:7.2回→実績:7.2回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:20.8人→実績:21.6人 ■達成状況 運行回数、輸送量とも実績が計画を上回っており、目標は達成されている。</p>	<p>・地域需要に見合った路線形態を沿線市町(鶴岡市・酒田市・三川町)と協議し、利便性の高い路線を目指す。</p> <p>・収益の向上のため路線再編を実施。</p> <p>・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。</p>
庄内交通株 鶴岡(ゆぽか)羽黒山頂線 (鶴岡市～旧羽黒町)	<p>・鶴岡市と利用実態及び地域需要に見合ったダイヤ等を検討。</p> <p>・R4の交通系ICカード導入に向けた取組みを行う。</p>	<p>【前回の事業評価結果】 自己評価のとおり 【事業評価結果の反映状況】 ・鶴岡市と時間帯ごとの利用実態の把握・共有を行い、需要の有無を確認。 ・観光利用のシーズン増減を鑑みたダイヤ及び便数の変更について検討。 ・今後の路線維持のため、鶴岡市に対し、路線の必要性の検討及び路線維持にあたる経費の確保について依頼。 ・「学生100円バス」を継続して設定し、高校における利用促進課題研究授業への協力を行った。 ・交通系ICカードの導入に向けた準備を進める。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B <p>■運行回数(移動機会の確保) 計画:6.6回→実績:6.6回 ■輸送量(利用者数の維持) 計画:25.7人→実績:10.5人 ■達成状況 運行回数は計画通りであったが、新型コロナウイルスの影響により輸送量は減少した。目標未達成のため、取組を継続する。</p>	<p>・地域需要に見合った路線形態を鶴岡市と協議し、利便性の高い路線を目指す。</p> <p>・収益の向上のため路線再編を実施。</p> <p>・交通系ICカードを導入(R4～)し、利便性の向上を図る。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 1月31日

協議会名：	山形県地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本県では、総人口が減少する一方で65歳以上の高齢者数が年々増加する中、平成29年3月の改正道路交通法の施行を契機に自動車運転免許の返納も増加傾向にあるなど、移動手段を公共交通に頼らざるを得ない、いわゆる交通弱者が増加することが見込まれている。</p> <p>一方では、学校、病院、行政機関の再編統合、郊外型大型店舗の進出に伴う地元商店街の衰退等により、県民の生活圏が拡大しており、地域間幹線系統のバス路線は、通院、通学、通勤、買い物等の日常生活を行う上で不可欠な移動手段となっている。</p> <p>しかしながら、少子高齢化やモータリゼーションの進展等により、本県におけるバス利用者数は、この30年間で8割以上減少し、現在も減少傾向に歯止めがかからない状況にあり、バス事業者は極めて厳しい経営環境に置かれている。</p> <p>こうした中で、県民が安心して社会生活を送り、積極的に社会参加でき、活力ある地域へとつながるよう、今後とも複数市町村にまたがる広域的・幹線的なバス系統の確保・維持に努めていく。</p> <p>また、増加傾向にある補助金の抑制を図るため、バス事業者や沿線の市町村と連携し、運行の効率化のための路線の再編や便数の適正化の検討、貨客混載等による新たな収益の確保、利用者増につながるモビリティ・マネジメント等の生産性の向上に向けた取組みを推進する。</p>